

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【公開番号】特開2019-146620(P2019-146620A)

【公開日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-036

【出願番号】特願2018-31519(P2018-31519)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月27日(2019.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

遊技媒体が進入可能な可変手段と、を備え、

前記有利状態制御手段は、有利度合いが異なる複数種類の前記有利状態に制御可能であり、

前記有利状態に制御されることを報知した後に、所定の演出態様により前記有利状態の種類を報知する再報知演出を実行可能な再報知演出実行手段と、

前記再報知演出の実行開始後の演出結果が表示される前に、前記再報知演出とは演出態様が異なり特定の有利状態に制御されることを報知する特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、

前記特別演出の実行後に、前記再報知演出の実行を示唆する特別画像を表示可能な特別画像表示手段と、を備え、

前記表示手段は、前記可変手段に遊技媒体が進入したに基づいて付与される遊技媒体数を表示可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(手段1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機であって、表示手段と、有利状態に制御可能な有利状態制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100における第1特別回路プロセス処理(ステップS25A)のステップS115A～S118

Aを実行する部分、第2特別図柄プロセス処理（ステップS25B）でステップS115A～S118Aと同様の処理を実行する部分）と、遊技媒体が進入可能な可変手段と、を備え、有利状態制御手段は、有利度合いが異なる複数種類の有利状態（例えば、6R通常大当たりや、2R通常大当たり、16R確変大当たり、2R確変大当たりにもとづく大当たり遊技状態）に制御可能であり、有利状態に制御されることを報知した後に、所定の演出様により有利状態の種類を報知する再報知演出（例えば、図8-39（C）に示す再抽選演出）を実行可能な再報知演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120におけるステップ138IWS929で選択したプロセステーブルに従ってステップ138IWS935およびステップS172を実行する部分）と、再報知演出の実行開始後の演出結果が表示される前に、再報知演出とは演出様が異なり特定の有利状態に制御されることを報知する特別演出（例えば、図8-39（D）および図8-40（E）に示すKT突入演出）を実行可能な特別演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120におけるステップ138IWS929で選択したプロセステーブルに従ってステップ138IWS935およびステップS172を実行する部分）と、特別演出の実行後に、再報知演出の実行を示唆する特別画像（例えば、図8-40（F）に示す再抽選ストック画像138IWO05）を表示可能な特別画像表示手段（例えば、演出制御用CPU120におけるステップ138IWS9709を実行する部分）と、を備え、前記表示手段は、前記可変手段に遊技媒体が進入したことに基づいて付与される遊技媒体数を表示可能である、ことを特徴とする。そのような構成によれば、再報知演出に関して遊技に対する興奮を向上させることができる。